

令和3年3月8日
報道発表資料

阪急×阪神×東急の協働ラッピング列車 「SDGs トレイン 2020」第3クールがスタートします！

川崎市では、SDGs（持続可能な開発目標）の普及啓発を図るため、東急株式会社が運行する「SDGs トレイン 2020」に、本市の取組を紹介するポスターを掲出しています。今回、第3クールとなるポスター掲出がスタートします。

■ SDGs トレイン 2020 とは ■

SDGs の認知度向上に向けて、東急株式会社と阪急阪神ホールディングスが東西で協働運行をしているラッピング列車で、走行にかかる電力は実質的に 100%再生可能エネルギーで賄われています。この取組は、第4回「ジャパン SDGs アワード」特別賞「パートナーシップ賞」を受賞されました。

令和2年9月8日から運行が開始され、その趣旨に賛同する沿線自治体や国、企業などが、各取組をポスターで表現して電車内を飾っています。

■ 運行概要 ■

運行期間：令和2年9月～1年間の予定（3か月×4クールにより掲出内容変更）

運行区画：東横線、田園都市線、世田谷線および相互直通区画

※阪急電鉄、阪神電鉄でも協働してトレインを運行



詳しくは東急グループ「SDGs トレイン 2020」特設 web サイトを御覧ください。
<https://tokyugroup.jp/sdgs/>

■ 第3クールに掲出する本市のポスターデザイン ■

第1クールでは「ごみの減量」をテーマに、第2クールでは「農」をテーマに本市のSDGs への取組を紹介しました。

3月8日から6月1日まで運行する第3クールでは、「多摩川」をテーマに、環境保護の取組を訴える内容でポスターをデザインしました。

